

自己資本の構成に関する開示事項
2018年12月末

【連結】 (単位:百万円、%)

項目	2018年12月末		2018年9月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	168,059		167,074	
うち、資本金及び資本剰余金の額	17,756		17,756	
うち、利益剰余金の額	153,248		152,889	
うち、自己株式の額(△)	2,945		2,943	
うち、社外流出予定額(△)	-		627	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△ 763		△ 820	
うち、為替換算調整勘定	-		-	
うち、退職給付に係るものの額	△ 763		△ 820	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	208		208	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,925		5,116	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	4,925		5,116	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	172,430		171,580	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	559	139	583	145
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	559	139	583	145
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
退職給付に係る資産の額	2,696	674	2,640	660
自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	1	0	1	0
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	3,257		3,225	
自己資本				
自己資本の額 ((イ)-(ロ))(ハ)	169,173		168,355	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	1,325,204		1,307,436	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 11,876		△ 14,713	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)	139		145	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、退職給付に係る資産	674		660	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 12,690		△ 15,519	
うち、上記以外に該当するものの額	0		0	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	66,458		66,458	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)	1,391,663		1,373,894	
連結自己資本比率				
連結自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	12.15%		12.25%	

【単体】 (単位:百万円、%)

項目	2018年12月末		2018年9月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	162,457		161,480	
うち、資本金及び資本剰余金の額	16,901		16,901	
うち、利益剰余金の額	148,501		148,150	
うち、自己株式の額(△)	2,945		2,943	
うち、社外流出予定額(△)	-		627	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	208		208	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,135		4,336	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	4,135		4,336	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	166,800		166,025	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	547	136	570	142
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	547	136	570	142
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	3,469	867	3,469	867
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	1	0	1	0
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	4,018		4,041	
自己資本				
自己資本の額 ((イ)-(ロ))(ハ)	162,781		161,983	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	1,318,585		1,301,052	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 11,685		△ 14,509	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)	136		142	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、前払年金費用	867		867	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 12,690		△ 15,519	
うち、上記以外に該当するものの額	0		0	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	62,062		62,062	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	1,380,647		1,363,114	
自己資本比率				
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	11.79%		11.88%	